

1 単元名 外来語を知ろう

2 単元の目標

- 自分の思いをはっきりと伝えることの大切さを知り、進んで相手の話を聞いたり、話したりしようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 積極的に英語を使って好きなものを尋ねたり、欲しいものを伝えたりする。  
(コミュニケーション能力)
- 身近な外来語に興味を持ち、外来語とそのもとなった言葉の音声の違いに気づく。  
(言葉や文化についての関心・理解)

3 単元について

児童が使っている日本語の中には多くの外来語がある。その多くはもとの発音と違っていたり、もとの意味とは違う使われ方をしたりしているものがあつたりする。そこで本単元では、様々な国から来た身近な外来語を取り上げ、もとの発音と外来語との発音を比較し、本来の発音に気づき慣れ親しむことをねらいとしている。

児童は昨年度より週1時間の外国語活動を行ってきた。挨拶の仕方や数の数え方、好き嫌いについて聞いたり答えたりする活動を通して、英語に慣れ親しんできた。実態調査から、児童は今までに行ってきた様々なゲームを好んでいることが分かる。また、役割演技に興味・関心を示していることも分かる。さらに、知っている外来語の数は個人差が大きく、その多くは食べ物に関するものだということが分かった。

本時では、役割演技への関心の高さと食べ物についての外来語を多く知っていることから、食事に関することを中心にすえ、レストランの注文のやりとりの場面を設定した。また、ウェイター・ウェイトレスの役割演技を取り入れ、食に関する本来の発音のことばを繰り返し使うことで、本来の発音に親しめるだろうと考えた。さらに、1人1人が数名の参観者から注文をとる中で、何度も“What would you like?” “～, please.”を使用し表現に慣れ親しませるとともに、初めて会った人にも自ら積極的にコミュニケーションを図る活動を通してコミュニケーション能力の素地を養いたい。

実態調査 (調査人数15人 9月 9日調査)

①外国語活動ではどのような活動が好きですか。	フルーツバスケット2人 インタビューゲーム3人 爆弾ゲーム 3人, ミスターウルフ 8人 いすとりゲーム 3人, うた 4人, あいさつ 1人
②どんな外来語を知っていますか。(のべ数)	食べ物…40語, もの…27語 スポーツ…6語, 楽器…4語, 動物…3語 ○2人以上が答えたもの (7人) コーヒー, (6人) セーター (4人) ゲーム, (3人) ハンバーガー  (2人) ハンバーグ, プリン, アイス, サッカー, バイバイ, ガソリンスタンド
③いくつの外来語を知っていますか。	0語…2人, 1～5語…7人 7～10語…4人, 13語…1人 23語…1人
④外国語で役割演技をやってみたいですか。	はい 11人 いいえ 4人
⑤レストランではっきりと注文することができますか。	はい 12人 いいえ 3人

4 指導計画 (4時間)

時	主な活動	主な英語表現
1	身の回りにある外来語を知ろう	banana, cabbage, lemon, tomato, cake など
2, 3	フルーツ・パフェを作ろう	What do you want? Strawberries, please.
4 (本時)	ランチプレートを作ろう	What would you like? Bread, please.

5 本時の学習

(1) 目標

- ラunchプレート作りを通して、英語を使って積極的に相手の欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。  
(コミュニケーション能力)

(2) 表現

- ・ What would you like? Bread, please.
- ・ Here you are. Thank you. You're welcome.
- ・ He likes ～, ～, ～ and ～.

(3) 準備・資料

絵カード, センテンスカード, おぼん, メニュー表, 注文表, 食材のカード

## (4) 展開

学 習 活 動	時 間	教師の働きかけと評価 (※)	
		HRT	ALT
1 あいさつをする。 Hello. How are you? I'm fine./ I'm hungry. / I'm happy.	5	・児童と共にあいさつをし、英語の雰囲気づくりをする。	・児童一人一人にあいさつをする。
2 “バナナじゃなくて banana” を2回歌う。	5	・歌に出てくるものを絵カードで示しながら、児童と一緒に歌い、楽しい雰囲気をつくる。	・CDに合わせて歌い、英語の雰囲気をつくる。
3 本時のねらいを知る。 ランチプレートを作ろう。			
4 注文の取り方を知り、練習する。 (1) 食べ物の言い方を練習する。 rice, bread, noodle, salad milk, tea, orange juice, coffee, water steak, hamburger, pasta, tempura, sushi orange, apple, ice cream, pudding, banana  (2) 注文の取り方を知る。 What would you like? Bread, please. What would you like? Milk, please.  (3) 言い方の練習をする。 What would you like? Bread, please. What would you like? Milk, please.  (4) ペアで練習をする。	10	・絵カードを示し、難しい発音のものについては繰り返す。 ・ALTの発音の前に日本語(外来語)で発音することにより、外来語のもとになる音声の違いが分かるようにする。  ・“What would you like?”は“What do you want?”よりも丁寧な言い方だということ話す。 ・ALTとデモンストレーションを行う。  ・会話をするときには、「相手の目を見て話す」「声の大きさに気をつける」ことを示範する。  ・言い方を忘れてしまった児童の支援をする。	・日常的に食べられているものの言い方を紹介する。  ・注文で使う単語や表現を使い、会話の進め方を示す。  ・範読する。
5 ランチプレートを作る。 (1) デモンストレーションを見る。  (2) 参観者から注文をとる。 A: Hello. How are you. What would you like? B: Bread, please. A: What would you like? B: Milk, please.  (3) 注文されたものをそろえる。 A: Hello. ALT: Hello. What do you want? A: Bread, please. ALT: Here you are. A: Thank you. ALT: You're welcome.  (4) 注文されたものを届ける。 Rice, tea, steak, pudding. Here you are.  (5) 作ったランチを紹介する。 Hello everyone. ~ sensei likes bread, milk, steak and orange. Thank you.	20	・注文をとってから届けるまでを児童に示すことで、児童が活動の見通しをもてるようにする。 ・進んで参観者に話しかけるように促す。 ・参観者にメニュー表を見せながら主食、飲み物、主菜、デザートから各1つずつ注文を受けるように話す。 ・注文を受けたものを繰り返して発音し、注文を確認するように話す。  ・4つの注文の内、3つは自分でカードを取り、デザートはALTから受け取るように話す。 ・カードが無いときは、参観者に“Sold out”と言い、新たな注文を受けるように話す。 ・一人目のランチプレートが完成したら注文した人へ渡し、二人目の注文をとるように促す。 ※進んで人と関わり、“What would you like?” “~, please.”の表現に親しむことができたか。(観察, 自己評価カード) ・児童の活動を賞賛する。 Good job! Great!	・注文をとることができない児童を支援する。  ・児童からオーダーを受け、正しい発音を示し児童に繰り返させる。  ・紹介の活動について説明し、デモンストレーションする。
6 本時の活動を振り返る。 ○ 参観者の先生の欲しいものを積極的に尋ねられたか。 ○ 自分の欲しいものを積極的に伝えられたか。	5	・本時の活動を振り返り、児童のよかった所を具体的に評価する。	
7 終わりのあいさつをする。 “Thank you, Ken sensei. See you.” “ See you.”			

